



学校だより

浮舟

u k i f u n e

 令和6年2月22日(木)
第42号

 〒979-2157
南相馬市小高区吉名字中坪1

TEL 0244-44-2023

県立高全日制・前期選抜最終志願状況

先週、県立高校全日製の前期選抜試験の最終志願状況が発表されました。
本校生徒たちの受験予定（第一志望）の学科等については以下の通りです。

学校名	学科等	定員	特色	志願者数			志願倍率	
				特色	一般	全体	特色	全体
相馬	普通	120	12	7	95	102	0.58	0.85
	理数	40	4	1	35	36	0.25	0.90
原町	普通	160	32	39	106	136	0.94	0.85
相馬農業	生産環境	40	12	4	29	33	0.33	0.83
	環境緑地	40	12	0	17	17	0.00	0.43
	食品科学	40	12	3	30	33	0.25	0.83
小高産業技術	環境化学	20	8	2	11	13	0.25	0.65
	ビジネス	40	16	14	29	43	0.88	1.08
県内公立高校	該当学科	40	32	50	0	50	1.56	1.25
ふたば未来	総合	160	45	55	19	111	1.22	1.05
		(30) 連携枠		(37) 連携志願者			(1.23) 連携倍率	
		一般実質定員 31 (-54 中等部, -45 特, -30 連)		一般実質志願者 36 (19+10 特色, +7 連携)			一般予想倍率 1.16	

3学年保護者の皆様には確認済みのことと思いますが、1, 2学年の保護者の皆様にも今後の高校入試情報として、県教委が発表した高校入学者選抜出願状況及び一部高校の倍率の見方についてお伝えしたいと思います。今年度本校生徒が受験予定で倍率1倍を超えたのは小高産業技術高校、県内公立高校、ふたば未来学園高校の各学科コースでした。特に小高産業技術高校は令和6年度から学科・コースを一部再編し、商業系コースとして新設したビジネスパイオニアコースの人气が非常に高くなりました。また、ふたば未来学園高校については公表結果だけで判断することはできません。未来学園はすでに中等部の生徒が基本的にそのまま進学するものと予想されるほか、連携枠、特色枠として双葉郡内の中学生枠やサッカー、バドミントン選手といった生徒たちの枠があるため、それらを定員160名から予め差し引く必要があります。詳しく分析しますと、中学部から54名が進級を希望、また特色選抜の定員45名、双葉郡連携選抜の定員30名が全員合格者で満たされたと仮定した場合、残り31名が一般選抜の定員となります。さらに、特色選抜で10名、連携選抜で7名が定員を超過しており、超過した受験生すべてが一般選抜を併願している場合、公表された志願者19名に加え合計36名の志願者で31名の定員枠を争うより狭き門（**実質1.16倍**）と捉えられます。しかし一般選抜については当日の試験結果を重視する実力勝負となるため、点数化された調査書の成績と本番での得点が大きく結果を左右します。あせることなく自信をもって落ち着いて受験に臨んでほしいと思います。

どの高校に対してもここまで頑張ってきた自分の力を信じることで、健康管理に十分留意することが今できる最大の受験対策です。ご家庭からのお声かけをよろしくお願いいたします。